

令和4年

第4回仙北市議会定例会

市 政 報 告

仙 北 市

令和4年第4回仙北市議会定例会 市政報告

令和4年第4回仙北市議会定例会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、新型コロナウイルス感染状況についてご報告します。県内は、5月中旬から、週の感染者数が減る傾向にあり、千人台となっています。仙北市でもここ2週間を見ますと、1日の感染者数が平均で3.1人となっていて、少なくなっている状況です。今後、ワクチン接種が進み、基本的な感染対策が取られることにより、さらに減少するものと思われまます。感染拡大防止に向け、市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

次に、新型コロナウイルスのワクチン接種についてです。

3回目のワクチン接種について、5月31日現在の進捗状況は、5歳以上の2回目の接種を終えた人2万2,133人に対し、1万6,745人の方が3回目の接種を終えています。接種率は75.7%になっています。

4回目の接種については、3回目接種の完了から5か月以上が経過した60歳以上の方及び18歳以上60歳未満の方のうち、基礎疾患を有する方が対象となっています。仙北市では、医療従事者等については6月中旬から、一般の対象者は7月20日から集団接種を開始する予定です。

4回目接種の所要の予算を提案していますが、本日の採決をお願いしています。よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

次に、一般会計補正予算(第2号及び第3号)についてです。

第2号の補正額は4,278万1千円の追加で、補正後の額は204億7,714万9千円です。補正事業は、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費、新型コロナ

ウイルスワクチン接種対策事業費です。6月末までの給付、コロナワクチン4回目接種に係るもので、早急に実施する必要があるため、定例会初日の議決をお願いするものです。

第3号の補正額は3億7,251万8千円の追加で、補正後の額は208億4,966万7千円となります。主な事業は、行政DX推進事業費、仙北市タクシー事業者支援事業費補助金、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費(ひとり親世帯以外分)、低コスト技術等導入支援事業費補助金、仙北市民プレミアム商品券事業費補助金、仙北市原油価格高騰緊急経済対策補助金、2022仙北市プレミアム観光支援事業費、仙北市伝統工芸品導入支援事業費補助金、仙北市学校給食応援事業費などです。繰越明許費は設定、債務負担行為補正は追加です。

なお、令和3年度一般会計決算見込み及び市税関係については、5月31日の出納閉鎖後の決算数値を精査し、最終確認を行った上で本定例会中に報告の機会を持ちたいと思います。

次に、仙北市の行財政改革の進捗についてご報告します。

現在、事務事業評価及び施策評価を行っており、その成果をもって、各種内容・数値目標などの内容検討を本年度中に行っていきます。事務事業評価においては、市単独経費が多い100程度の事業を抽出し、拡充から廃止までの判定を行います。施策評価においては、枠予算を目指して、施策ごとの市民の満足度重要度などを中心に構築を進めています。

また、総務部内において、人事システムと職員育成・登用システムの先進事例などの収集・分析を行っています。本年度後半には新システム骨子を構築していく予定です。

昨年度策定した「仙北市DX推進計画」に基づいて、先日、仙北市DX推進本部を立ち上げました。各課にDX推進リーダーを配置し、しっかりと足下から進めます。

それでは、各部局等の主要事項及び諸般の状況を報告します。

【総務部】

◇第三セクター経営統合について

アロマ田沢湖、花葉館、西宮家、西木村総合公社の経営統合については、7月1日の新会社設立に向けて準備を進めていましたが、株主の意向確認や事業実施のための許認可申請、公告手続きに想定より日数を要することから、設立時期を延期することとしました。本定例会中に議員の皆様の詳細を説明する機会をつくります。また、新会社設立後の経営コンサルタント会社による支援に係る経費について本定例会最終日での追加提案を予定しています。

◇市民意識調査アンケートについて

市民の幸福度を把握するために、調査票を配布し、施策ごとの満足度重要度を調査します。実施している仙北市行財政改革に係る事業・施策評価実施要領の柱の核となるものです。性別年齢地域などでのクロス集計をすることで、市民の意識をきめ細やかに分析します。

◇新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

既に配分となっている令和3年度補正分1億7,886万5千円に加え、昨今の原油・物価高騰対応分として1億3,530万6千円が新たに配分され、経済支援対策を一般会計補正予算(第3号)に計上しています。ご審議の程、よろしく申し上げます。

◇ふるさと納税について

令和3年度ふるさと納税寄附額が11億3,391万4千円となり、2年連続で10億円を突破したものの、令和2年度比77.7%で全県2位となる見込みです。

5月29日現在では、前年同日比で123%ですが、より多くの方々からご助力頂けるよう魅力ある返礼品の創出や情報発信に努め、多くの寄

附を頂けるよう進めていきます。

◇指定金融機関派出所の見直しについて

指定金融機関の秋田銀行から各庁舎に開設している派出所の見直しの申し出がありました。7月1日から、西木庁舎内の派出所を廃止し、銀行員が庁舎を訪問し集金する形に変更、田沢湖庁舎内の派出所は、開設時間が午後1時30分から午後2時30分に変更になります。角館庁舎内の派出所は変更ありません。

変更後の市税等の納付については、これまでと同じように西木市民センターの職員、会計課職員が受付収納を担当し、市民の方々へご不便をおかけすることのないように対応いたします。ご理解をお願いいたします。

【市民福祉部】

◇西明寺診療所市川晋一所長の赤ひげ大賞の受賞について

西明寺診療所の市川晋一所長が日本医師会主催の第10回「赤ひげ大賞」を受賞され、5月12日に都内で秋篠宮皇嗣同妃両殿下や岸田首相ご臨席の下、表彰式が執り行われました。

長年にわたって仙北市の地域医療を支えていただいた功績が認められ、今回の受賞につながったと思っています。改めて心から敬意と感謝を申し上げます。

◇住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業について

令和3年度の事業については、対象となる3,289世帯に確認書を送付し、3,188世帯、96.9%の世帯が支給済みとなっています。家計急変により申請書を提出されたのは12件で、10世帯に支給しています。

確認書を送付されたものの、まだ申請されていない世帯については、今後個別通知などを行い申請勧奨に努めます。

また、今年度についても同様の事業が継続となり、これまでに支給済みとなった世帯については対象となりませんが、令和4年度住民税非課

税世帯や1月以降の家計急変世帯に対し、1世帯当たり10万円を給付いたします。

◇生活保護引下げ処分取消請求訴訟について

生活保護引下げ処分取消請求訴訟が秋田地方裁判所に提起されていましたが、3月7日の一審で「原告の請求棄却」との判決となっています。

その後、3月18日付で控訴状が提出されていますが、仙北市の被保護者が控訴人に含まれておらず、仙北市に対する訴訟が終了しています。

【観光文化スポーツ部】

◇水沢第2砂防堰堤ボルダリングウォールについて

湯沢河川国道事務所が工事を実施している水沢第2砂防堰堤の壁面を利用し、市事業でホールドと看板などを設置した、国内初の取り組みとなるボルダリングウォールが、5月21日に本格オープンとなりました。

初日にはオープニングセレモニーを行い、5月1日から地域おこし協力隊に着任した岩見谷慎太郎(いわみや しんたろう)さんのBGMに合わせ、デモンストレーションを2020ボルダリングユース日本選手権3位の佐藤凜(さとう りん)さんに行っていただきました。

このボルダリングウォールは、普段は誰でも自由に使えるほか、修学旅行や体験学習、学校単位の団体利用も想定し、仙北市の新しいアウトドアアクティビティとして、市民の健康増進や観光誘客に活用していくことにしています。

◇秋田駒ヶ岳山開きについて

6月1日に秋田駒ヶ岳の山開きを行いました。今年度も雫石町と協議の上で、登山者の安全を祈願するための神事のみ執り行いました。

また、6月4日から土日祝日、6月21日からは毎日、県道駒ヶ岳線の

マイカー規制がはじまります。規制期間中はバス、タクシー、指定車両のみ通行が可能となり、田沢湖駅またはアルパこまくさ発着の駒ヶ岳八合目までのバスが運行されます。

◇フェニックスアワード2021について

一般社団法人東北観光推進機構が、観光振興を通じた地域の活性化に尽力貢献し、その功績が顕著であった東北6県及び新潟県に関わる団体や個人に対して表彰を行う「フェニックスアワード 2021」に、一般社団法人田沢湖・角館観光協会が選ばれました。

コロナ禍の密回避やアウトドア需要といったニーズに対応し、時代に合ったスタイルで楽しめる体験コンテンツを多数作成したこと、遊覧船や湖畔散策が主だった田沢湖観光をリブランディングし、観光振興と地域経済の活性化を図ったことなどが、評価された功績です。

◇これが秋田だ！食と芸能大祭典について

5月28日、29日、秋田市八橋運動公園を会場に、「東北絆まつり2022」と、「これが秋田だ！食と芸能大祭典」が合同開催され、仙北市からは「角館祭りのやま行事」が出演しました。山車の展示やお囃子、手踊りを披露し、来場した多くの方々に角館のお祭りの魅力を伝え、土崎港祭り、花輪ばやし、綴子大太鼓とともに会場を大いに盛り上げました。

◇全国伝統的建造物群保存地区協議会(伝建協)について

5月19日、20日、広島県呉市で開催された「第44回全国伝統的建造物群保存地区協議会総会」に出席しました。北海道から沖縄まで143人の参加がありました。

新たに会長に就任した村山金沢市長を他の副会長とともにお支えし、伝統的建造物群の保存と活用のために役割を果たしてまいります。

【農林商工部】

◇クマによる人身被害について

5月25日の早朝、田沢湖神代地区で犬と散歩中の男性がクマに襲われ、クマとともに刺市川(さしいちがわ)へ転落し大けがを負いました。市では、防災無線、安全安心メール、注意看板設置、チラシの配布等で注意喚起を行い、併せて檻の設置、付近のパトロールを実施しています。5月28日午後には設置した檻で雄クマ1頭を捕獲しました。檻は地区住民の安全を考慮し、設置を継続しています。

◇田沢湖玉川地区の国有林への入山禁止措置について

秋田森林管理署・秋田県自然保護課・仙北地域振興局・仙北警察署・田沢湖猟友会などで構成されるツキノワグマ対策連絡会議では、田沢湖玉川地区の国有林でのツキノワグマ生息状況などを踏まえ、今年度も春の雪解けから秋の降雪までの間、国道341号沿いから国有林への入林を禁止することとしました。玉川温泉付近では昨年度12頭のツキノワグマを捕獲しています。人身被害は無かったものの、入山者の安心・安全を確保するためご理解をお願いします。

◇鳥獣被害対策実施隊員捕獲報償について

今年度から、イノシシ・ニホンジカによる農林業及び生活環境での被害の拡大防止を図るため、捕獲報償金を創設しています。鳥獣被害対策実施隊員の捕獲意欲向上と新規隊員の確保につながる事業ととらえています。

◇新規就農者等の確保・育成について

仙北市の農業振興の柱となる担い手育成について、今年度は県の未来農業フロンティア育成研修に新規研修者2人を含む3人の若き農業後継者が参加し、4月から秋田県農業試験場などで研修に取り組んでいます。地域に欠くことのできない担い手として成長し、農業生産活動に従事されるよう期待しています。

◇秋田県新品種米「サキホコレ」の作付について

今秋に本格デビューする新品種米「サキホコレ」については、春の好天にも恵まれ、市内で30の生産者により34.7ヘクタールに作付されたとJA秋田おぼこ等から伺っています。

◇市内ほ場整備について

農地集積加速化基盤整備事業について、田沢湖神代地区で事業実施中の県営ほ場整備事業は4年目を迎え、全体計画のうち岡崎地区周辺で8工区全体面積59.3ヘクタールの面工事を行い、11月頃までの工期予定となっています。

生保内南地区では今年度補完工事が完了予定となっています。農地集積が完了し、更なる作業効率の向上とコストの削減、高品質な稲作農業の展開が期待されます。

農地中間管理機構関連ほ場整備事業については、八津鎌足(やつかまたり)地区で事業実施中の県営ほ場整備事業は、今年度補完工事が完了予定となっています。中川地区については面工事1年目であり川原(かわら)・寺前(てらまえ)・安久戸(あくど)地区が対象地域となっています。大瀬蔵野(おおせぞうの)地区は、今年度、調査計画策定を行う予定です。

◇仙北市飲食店事業継続緊急支援金について

新型コロナウイルスの影響で売上が減少している飲食店を営む事業者を対象に支給している仙北市飲食店事業継続緊急支援金は、4月1日から受付を開始し、5月13日に交付申請受付を終了しています。申請件数123件、うち交付決定件数122件、交付決定支援金1,220万円となっています。

【建設部】

◇道路事業期成同盟会について

由利本荘市と大仙市を結ぶ国道105号の整備促進のため、5月16日に大曲エンパイヤホテルにて「地域高規格道路本荘大曲道路整備促進期成同盟会設立総会」が開催され、新たな期成同盟会が設立されました。本荘大曲道路は、大曲・鷹巣道路の延長線上に位置し、仙北地域の発展にも大きく寄与する重要な路線です。整備促進のため要望活動を行います。

また、5月27日に国道46号「地域高規格道路」盛岡秋田道路整備促進期成同盟会総会、地域高規格道路大曲・鷹巣道路整備促進期成同盟会総会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、例年お招きしていましたが来賓の方々の招待を見送り、会員と状況報告を行う国、県の職員での開催となりました。両同盟会とも関係する自治体と連携し、整備促進に向けた取り組みを強力に進めます。議員の皆様の特段のご理解とご協力をお願いします。

【医療局】

◇令和3年度決算見込みについて

田沢湖病院は、1,429万3千円の赤字、角館総合病院は、2億8,086万1千円の赤字となる見込みです。

しかしながら、角館総合病院は、前年度より約1億4千万円の改善となる見込みです。

◇新型コロナウイルス感染症検査状況等について

令和3年度、田沢湖病院における、抗原検査、PCR検査の実施件数は223件で、発熱外来患者数は286人となっています。

角館総合病院は、行政検査1,529件、自費検査133件で、発熱外来患者数は1,968人(時間外を含む)となっています。

今冬のオミクロン株による感染急拡大に伴い、秋田県では3月から医療機関等を除く事業所で感染者が出た場合、濃厚接触者の特定作業を原則行わないこととしたため、行政検査が減少する一方で発熱外

来の患者数が増加している状況です。

以上、主要事項及び諸般の報告を申し上げます。本定例会に提案している案件は、報告関係4件、予算関係4件、その他1件、人事関係4件の計13件です。

慎重審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げます、市政報告とします。